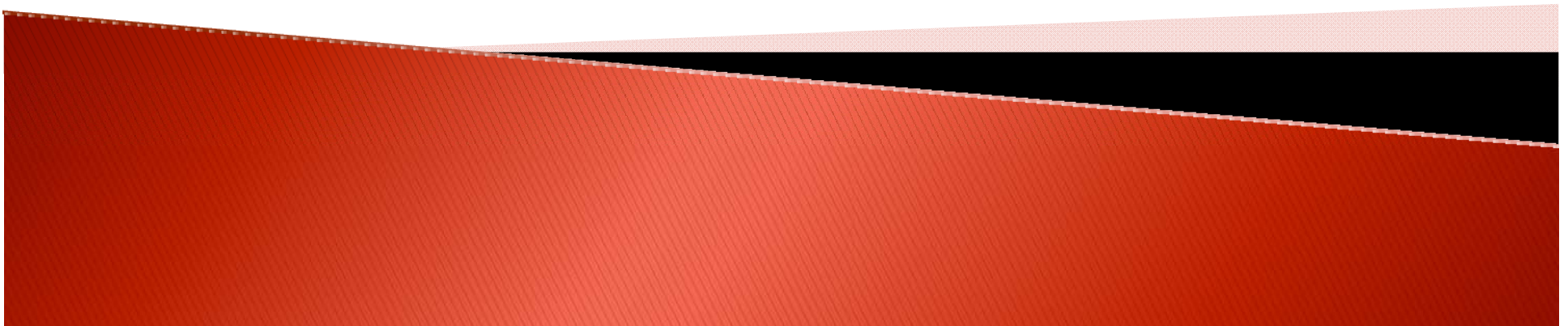


魂への配慮 Spiritual Care

—東日本大震災後の教育支援

(釜石市立唐丹小中学校)活動報告—

長谷川(間瀬)恵美



2011年4月 震災直後の唐丹町



唐丹駅



2011年4月 唐丹小学校



唐丹小学校



7月 中学校校舎の窓から



談室

校舎の中



校舍二階





7月 唐丹町









8月 プレハブ校舎建設が始まる









2012年 震災一年後の唐丹町







盛岩寺







2013年 震災二年後の唐丹町



ついでに、この
世帯の被害を伝える
しんがきとして
復興 小学4年

我が家の家が倒壊し、
家族全員が避難所生活を
送りました。あの日の
記憶は、今でも鮮やかに
残っています。震災から
2年が経ちました。この
日、改めてこの町を歩くと、
被災した人々の姿や、
復興のために頑張っている
人々の姿を見かけます。
復興を祈ります。

震災から2年が経ちました。
あの日の記憶は、今でも
鮮やかに残っています。
復興を祈ります。

震災から2年が経ちました。
あの日の記憶は、今でも
鮮やかに残っています。
復興を祈ります。

震災から2年が経ちました。
あの日の記憶は、今でも
鮮やかに残っています。
復興を祈ります。

津波なんかに負けたくない
仲間いるから
津波なんかに負けたくない
三浦 剛 小学6年

震災があったのは、
多分10年か15年か、
前にもあったはずなのに、
なぜかこんなに怖い。
あの日の記憶は、
今でも鮮やかに残っています。
復興を祈ります。

震災から2年が経ちました。
あの日の記憶は、今でも
鮮やかに残っています。
復興を祈ります。

震災から2年が経ちました。
あの日の記憶は、今でも
鮮やかに残っています。
復興を祈ります。

信濃の国 唐丹町 大津波
2011 3.11

「100回洗って
101回目」
上野 葵

どの日の記憶も
どれも
どれも
どれも

ピン子はちゃん
小野寺

あの日の記憶は
菊池 達

一生忘れな
家は流れたけど
心友と
大滝 美

毎日を誰か
人に心からの僕
鈴木 亮

まけねーぞ津
三浦 勇

何も終わら
太陽が輝
ぶくらの希
ずっと
千葉 健

一瞬、迷う
届かないよう
佐藤 博

あの時、この町をのみ
絶対取り
鈴木 長

流された
なんかじゃ
ボンド 公美子

みんなが幸
井上

伝えつなく大津波
千年に一度と言われる
今回の大津波のことを
子孫孫まで警鐘として
語り伝え、語り継いで
行かなければならない。
三宅 俊輝

自分が考えているよりも、
波は速くきます。
自分が考えているよりも、
波は高く上がります。
自然は人知をはるかに
こえる存在であることを
忘れてはいけません。
三宅 亮子

たしな言葉を聞くことが、
無理をせず何かに気づかせること
いつも仲間や家族と一緒にいます。
木山 行 中学3年

沿岸部が大変なことになりました。
私は、津波はいけないと思いました。
復興祈願。
津波はこわいです。一生こななくてください。
海はどううだ。
鈴木 秀房 中学3年

一人じゃない魂は共に。
尾形 彰香 中学3年

津波と人々の優しさを忘れず、
この町をもっと発展させよう。
津波に負けるな釜石！！
小野寺 雄大 中学3年

がんばろう釜石。がんばろう唐丹。
津江 祐也 中学3年

地震がきたら高台へ避難！
パニックになるな！
絆をふかめつべす唐丹！！
負けねえぞ唐丹！！
尾形 大成 中学3年

平成最大の津波に尊い人命を失い
茲に塔構に奉りご供養出来ますように
しゃむに供養塔
平成廿三年三月十一日記念日
河村 ミツ 83才

【昭和八年津波慰霊の歌】
亡き魂は千尋の海に静まりて
栄え行く世の柱たるらん。
当時石黒岩手県知事作詞
推薦者 鈴木きみ子



昭和八年
津波記念碑
大津波 津波
水に流されし
子も亦上りて

津波犠牲者
記念碑

明治廿九年七月
間 甲賀シ家持
者之微雨ナ律フ者
時ニ及ビ海上ニ
シテ 津波ナリ
ノナリ 津波
ノナリ 津波
ノナリ 津波
ノナリ 津波
ノナリ 津波
ノナリ 津波
ノナリ 津波
ノナリ 津波

碑転移
津波犠牲者
記念碑

津波犠牲者
記念碑
昭和八年
津波
水に流されし
子も亦上りて



盛岩寺庫裏新築工事
施工 (有)木村工務店

EEC 唐丹小中学校支援募金報告

- ▶ 募金額
- ▶ 支援者数
- ▶ 決算報告書

▶ <http://www10.plala.or.jp/yasnpli/>



2013年 震災二年後の唐丹町



ついでに、この
世で何をするにも、
みんなが支えあってこそ
復興 小野寺

復興のためには、
自分たちの力だけでなく、
他の方々の協力も必要です。
みんなで力を合わせて、
この町を元気にしましょう。
復興 小野寺

復興のためには、
自分たちの力だけでなく、
他の方々の協力も必要です。
みんなで力を合わせて、
この町を元気にしましょう。
復興 小野寺

津波なんかに負けたくない
何年後かには
津波なんかに負けたくない
三浦 剛 小学5年

復興のためには、
自分たちの力だけでなく、
他の方々の協力も必要です。
みんなで力を合わせて、
この町を元気にしましょう。
復興 小野寺

信
の
つ
ら
い
な
へ
大津波
2011
3.11

「100回洗って
101回目」
上野 梨

どれだけの時間が
どれだけの
木村

ピン子はチャン
小野寺

あの日の記憶は
菊池 達

一生忘れな
家は流れたけど
心友と
大滝 真

毎日を後か
人に心からの僕
鈴木 亮

まけねーぞ津
三浦 真

何も終わら
太陽が輝
ぼくらの希
ずっと
千葉 健

一瞬、迷う
届かないよう
佐藤 博

あの時、この町をのみ
絶対取り
鈴木 長

流された
なんかじゃ
ボンド 公美子

みんなが幸
井上

伝えつなく大津波
千年に一度と言われる
今回の大津波のことを
子子孫孫まで警鐘として
語り伝え、語り継いで
行かなければならない。
三宅 俊博

自分が考えているよりも、
波は速くきます。
自分が考えているよりも、
波は高く上がります。
自然は人知をはるかに
こえる存在であることを
忘れてはいけません。
三宅 亮子

たとえ津波が来たとしても、
無理をせず命を大切に
いつでも仲間や家族と一緒にいます。
木山 行 中学3年

沿岸部が大変なことになりました。
私は、津波はいけないと思いました。
復興祈願。
津波はこわいです。一生こないてください。
海はどうもうだ。
鈴木 秀房 中学3年

一人じゃない魂は共に。
尾形 彩香 中学3年

津波と人々の優しさを忘れず、
この町をもっと発展させよう。
津波に負けるな釜石！！
小野寺 雄大 中学3年

がんばろう釜石。がんばろう唐丹。
津江 祐也 中学3年

地震がきたら高台へ避難！
パニックになるな！
絆をふかめつべす唐丹！！
負けねえぞ唐丹！！
尾形 大成 中学3年

平成最大の津波に尊い人命を失い
茲に塔構に奉りご供養出来ますように
しゃむに供養塔
平成廿三年三月十一日記念日
河村 ミツ 83才

【昭和八年津波慰霊の歌】
亡き魂は千尋の海に静まりて
栄え行く世の柱たるらん。
当時石黒岩手県知事作詞
推薦者 鈴木さきみ子

2014年 震災三年後の唐丹町

